

仙台
県造園建設業協会など3団体の作品
全国都市緑化フェアに出展



本県の3団体が手がけた作品

「第40回全国都市緑化仙台フェア 未来の杜せんたい2023」は26日、仙台市の青葉山公園などをメイン会場に開幕した。本県の県造園建設業協会、日本造園建設業協会県支部、日本造園組合連合会県支部の共同作品「ゆるやかに 登り行(ゆ)く」が展示されている。

県造園建設業協会などは東日本大震災と東京電力福島第1原発事故の惨禍から

緩やかに復興していくことへの思いを込め、昨年10月から作品制作を進めてきた。中央に中通りと会津盆地をイメージした水おけを設置。緩やかな上り坂は相馬野馬追の馬をモチーフにし、坂を上ると「ほんとうの空」が見える景色をイメージした。緑化フェアは仙台市などの主催で6月18日まで開かれている。時間は午前9時30分から午後5時まで。入場無料。